

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

霊峰“笠形山”を活かした瀬加さとやまりフレッシュ計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

兵庫県

兵庫県神崎郡市川町

### 3 地域再生計画の区域

兵庫県神崎郡市川町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本計画区域である神崎郡市川町は、兵庫県のほぼ中央に位置しており、町内を南北に流れる市川沿いの平野部を中心に開けたまちである。町北東部にそびえる「笠形山」は、古くから「播磨富士」の名で崇められている霊峰であり、標高1,000メートル近いその山麓には長い歴史を伝える笠形神社や笠形寺などがあるほか、県立自然公園の豊かな自然環境が広がっていることから、1年を通して多くのハイカーが訪れる。また「かぶとむしどーむ」などのユニークな施設が併設された「リフレッシュパーク市川（公営）」や「かさがた温泉“せせらぎの湯”（民営）」などのレクリエーション施設が整備された山麓南側の里山地域は町観光産業の拠点となっており、都会では味わえない田舎の風情を思う存分楽しむことができる。

これらの地域へのアクセスとしては、山陽自動車道や中国縦貫自動車道から播但連絡道路や国道312号を經由し主要地方道西脇八千代市川

線・町道河内線を通るルートが一般的であるが、ゴールデンウィークや夏休み等といったピーク時期には、1本道である町道河内線に来場者の通行が集中する。これにより発生する渋滞は、地域住民の生活に支障をきたしているうえ、来場者からも不評の声があがっていることから、周辺路網の整備による新たなアクセスルートの確保が求められている。今後、更なる入込客の増加による地域産業の活性化を促すためにも、多方面からのアプローチを可能にする必要がある。

特に町東部を南北方向にはしる「林道笠形線」を經由する新ルートは、観光拠点である「リフレッシュパーク市川」周辺地域が林道のほぼ中間点に位置し、笠形山を主とする豊かな自然環境の中をかけぬける癒しのルートとして一刻も早い開通が待たれている。また、これらの自然環境のもととなっている豊かな森林資源についても、その整備推進が強く求められている。このような中、効率的・効果的な森林整備を推進していくには、森林整備に直結した林内路網の整備が絶対条件となるが、その骨格的な位置づけとなる「林道笠形線」の開設整備は、これまで到達することさえも困難であった山間奥地林へのアクセスが向上するほか、森林整備に直結した森林管理道や作業道等の支線を計画的かつ容易に設置できる。また、高性能林業機械との組み合わせにより、間伐、枝打ち、木材搬出等の造林コストや森林内作業者の通勤時間の短縮など、林業生産性の向上や労働条件の改善が見込まれることから、笠形線を利用する地域森林組合等の林業事業体や森林所有者に対して、林道笠形線沿線の有利性（整備が必要な山間奥

地の森林が、作業道や森林管理道とつながり、林道笠形線を経て県道、市町道、森林管理道に連絡することによる路網条件の良さ)をPRし、森林・林業関連施策の積極的な導入を図り、効率的・効果的な森林整備を推進する必要がある。

本地域再生計画では、市川町の財産である豊かな自然環境を保全するとともに、笠形山周辺が地域間、また都市住民との交流の場として有効に活かされるよう、兵庫県と市川町が一体となって各路網のネットワーク整備を推進することにより、地域のさらなる活性化を図るとともに生活環境の基盤整備を促進するものとする。

### 目標1) 効率的・効果的な森林整備の推進

林道笠形線の開設整備に伴い、計画的な利用区域内森林の森林整備を以下の指標により実施するものとする。

笠形線の利用区域・・・3, 539ha (蓄積85万m<sup>3</sup>)

人工林：2, 407ha (蓄積70万m<sup>3</sup>)

天然林：1, 132ha (蓄積15万m<sup>3</sup>)

#### 利用区域内森林の森林整備森林計画面積 (5ヶ年計画)

単位:ha

整備事業種	実績 H14~H16	計画 H17~H18	計 H14~H18
主伐	5	3	8
間伐	411	182	593
その他保育	46	30	76
計	462	215	677

(H16年度実績は見込み)

## 目標 2) 路網整備によるアクセス改善に伴う地域間交流の活性化および入込者の増加

近年 22 万人前後で推移している町への入込者数について、過去 3 年間平均の約 10% 増にあたる 24 万人を目標とする。

単位：千人

年	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
入込者数	54	114	123	124	121	215	210	225

県統計資料より

## 5 目標を達成するために行う事業

### (5-1) 全体の概要

「リフレッシュパーク市川」を中心とした町の交流拠点地域への新たなアクセス道として、「町道河内小畑線、町道塩谷坂線、町道河内真弓谷線」をはじめ「林道笠形線」を整備し、多方面からのアプローチを可能にすることにより、交通渋滞の緩和や地域住民の生活道路としての機能向上を図るほか、都市近郊の身近な山間奥地林の山岳観光等、豊かな自然環境にふれあうことができる「森林空間」を創造するとともに、林道笠形線周辺に広がる豊かな森林資源の整備推進を図ることにより、都市住民および地域住民の交流空間としての機能を向上させ、周辺地域の更なる活性化を目指す。

### (5-2) 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

#### 道整備交付金を活用する事業

#### 【施設の種類の種類（事業区域）、実施主体】

- ・ 林道（市川町）、兵庫県（地域森林計画に定める林道に記載し林道台帳に搭載済み）
- ・ 町道（市川町）、市川町（道路法の規定による市道認定済み）

#### 【事業期間】

- ・ 林道（平成 17～19 年度）
- ・ 町道（平成 17～21 年度）

#### 【整備量及び事業費】

- ・ 林道 1.626Km
- ・ 町道 1.414 Km
- ・ 総事業費 5 億 7 千万円

林道 4 0 千万円（うち交付金 2 0 千万円）

町道 1 7 千万円（うち交付金 8 . 5 千万円）

### （5－3）その他の事業

#### ○多様な森林資源の整備活用促進

- ・ 造林事業（国庫補助事業）

下刈・枝打ち・除間伐等、総合的な保育施業のほか、林道・作業道の開設促進を図るなど、森林整備における総合的な事業の展開。

- ・ 森づくり交付金の活用（交付金）

間伐等の森林整備を推進するため、作業路網を集中的に開設。

- ・ 新ひょうごの森づくり（県単独事業）

県・町が連携し、公的管理による間伐事業を推進

地域の自然植生を活かした里山林整備の推進  
森林環境教育等の普及啓発事業の推進

6 計画期間

平成17年度～21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、この計画期間終了後に県および町で必要な調査を個別に行い、現状を把握し目的の達成状況の評価、またその時点での改善すべき事項の検討等を行うこととする。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し